

どんぐり

フォト劇場 (31)

写真が生まれるものがたり

無防備であられることの幸ひの少女が齧るドンゲ
リクツキー
中村敬子

縄文時代、団栗など木の実は主食だったらしい。生きる喜びに満ちて食べたことだろう。巡りの災いは無くならないが、少女は一繋がり命の途中の今を噛みしめながら、美味しいものを程良く食べた。

交響曲「巨人」^{タイタン}終章 総奏の夕映え コテージ
「どんぐり」^{トウツテイ} テラス
早川昌成

富山平野を一望できる立地にコテージ「どんぐり」がある。十月はどんぐりの季節、「どんぐり」から見る秋の夕映え、朱に染まる大空から交響曲「巨人」終結部^{コノクダ}の総奏^{トウツテイ}が私の内耳にクレッシェンドしてくる。



ポッケより出でしどんぐり楡となりあをあをゆら
すわがハンモック
中村麗子

山路で拾った団栗を庭に埋めた。芽が出て、
枝葉広げて、楡の木となった。ちょうど手頃
な木だったので、ハンモックを吊った。鮮や
かな緑の葉で、強い日差しを遮り、涼やかな
風を通して、絶好の避暑場となった。

ドングリを主食にしてゐた時代には無かつたとい
ふ戦争を思ふ
梅田陽介

団栗が主食の縄文時代に戦は無かつたが、美
味で収穫量に優れた米が伝来すると人々は開
墾に努め、土地に固執し、戦争が生まれた。
今や野山に転がるばかりの団栗には、人類の
苛烈な努力への皮肉が詰まっていまいか。